

(別紙5)

整理番号 2020P-135

補助事業名 2020年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 NPO法人全国精神保健職親会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

平成30年の精神障害者の雇用義務化と法定雇用率の引き上げにより、企業は精神障害者の新規採用と就労定着の対応に迫られている。精神障害者の就労継続を支える取り組みは、より広範な雇用管理スキルの向上につながりうるもので、そのノウハウを共有する場を全国で提供する。

### (2) 実施内容

<https://vfoster.org/cases/> (URL)

#### 1. インターネットによるメンタルヘルス支援ソフトの配布・運用

メンタルヘルス支援ソフト 画面サンプル (左：日報入力画面 右：統計グラフ画面)



#### 2. 精神・発達障害者の雇用管理ノウハウ研修・交流会



事業報告会「コロナ時代の多様な就労形態に対応する支援・雇用マネジメント～一人ひとりがいきいきと活躍する障害者雇用へ～」  
2021年1月29日 東京都

(別紙5)



写真左上：兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会 共催研修会

就労支援システム「SPIS」セミナー（入門編）

2020年9月5日 神戸市

写真右上：SPIS講座 スタートアップ編 in 北九州

～Web 日報を利用して在宅就労・在宅支援を活性化させるメンタルマネジメント  
ケアシステム～

2020年10月31日 北九州市

写真左下：精神・発達障害者の雇用マネジメントを学ぶ京都の企業と支援者の研修会～

職場の戦力につなげるSPIS活用事例～

2021年3月16日 京都市

## 2 予想される事業実施効果

就労定着への課題が指摘される精神障害者の雇用は、支援にかかる社会資源が決して十分とは言えず、雇用企業自身も雇用マネジメントのスキルを向上させる必要がある。症状や心理状態が目に見えない精神疾患では、それらを「見える化」してコミュニケーションの活性化を図ることで就労継続を実現する環境を構築しやすくなるが、本事業で普及を図るシステムはそのためのツールであり、当事者の安定就労と企業の雇用マネジメントスキルの向上が期待される。

## 3 補助事業に係わる成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

就労支援システムSPIS 導入事例の紹介 (<https://www.spis.jp/cases.html>)

(別紙5)

就労支援システムSPIS 利用者の声 (企業担当者の声)

([https://www.spis.jp/voice\\_charge.html](https://www.spis.jp/voice_charge.html))

研修テキスト「SPIS利用者の声」



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

事業報告書 コロナ時代の多様な就労形態に対応する支援・雇用マネジメント  
～ 一人ひとりがいきいきと活躍する障害者雇用へ ～



#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： NPO法人全国精神保健職親会 (ゼンコクセイシンホケンシヨクオヤカイ)

住所： 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-3-4 新大阪高光ビル801

JSN地域・企業連携事業部 気付

代表者： 理事長 中川 均 (ナカガワ ヒトシ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 三原 卓司 (ミハラ タクジ)

電話番号： 06-6307-1616

F A X： 06-6307-1313

E - m a i l： [info@vfoster.org](mailto:info@vfoster.org)

U R L： <http://vfoster.org>